

北海道サケネットワーク 2018 度総会 要録

日 時 2018 年 5 月 26 日 (土) 13 : 15 ~
場 所 旭川市神楽公民館
出席会員数 18 名
議事進行 木村義一 事務局長

○ 開会の挨拶 阿部周一代表

旭川の皆さんへの謝辞, 上川アイヌの文化に関して「日本遺産」認定のお祝い.

○ 議 事

【報告事項】

- 1 2017 年度の活動について, 木村事務局長より以下の通り報告があった.
 - 1) 2017 年度総会・サケ会議を札幌市 L プラザにおいて 2017 年 5 月 27 日に開催.
 - 2) 会報 10 号発行 (HP からダウンロード可)
 - 3) ニュースレターの 51~54 号の発行 (4 回 : 4 月, 7 月, 10 月, 1 月)
 - 4) ホームページの大巾な改訂 (模様替え)

【協議事項】

- 1 2017 年度収支決算報告及び会計監査報告
小川事務局委員より以下の通り報告があり, 承認された.

《収入の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
前 期 繰 越 金	39,488	39,488	
会 費	42,000	47,000	11 団体
寄 付	0	0	
合 計	81,488	86,488	

《支出の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
手 数 料	2,000	730	郵便振替
通 信 費	5,000	4,002	郵送料
消 耗 品 費	2,000	4,335	用紙・封筒事務用品
会 議 費	10,000	21,526	
会 報 費	0	0	
予 備 費	62,488	2,030	
合 計	81,488	32,623	

(次年度繰越金 86,488 - 32,623 = 53,865)

2017年度 会計監査報告

北海道サケネットワークの、2017年度(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の会務、並びに会計の収支決算報告書について、関係諸帳簿などを監査した結果、適正に執行・処理されていると認めます。

2018年 4月 10日

監 事 藤瀬 雅秀
監 事 佐藤 信洋

2 2018年度活動計画案

木村事務局長より以下の通り提案され、承認された。

- 1) 2018年度総会・北海道サケ会議(於 旭川市)の開催
- 2) 会報11号の発行
- 3) ニュースレターの発行(昨年通り年4回を予定)

3 2018年度収支予算案

小川事務局委員より以下のように提案され、承認された。

《収入の部》

科 目	前年度予算	18年度予算	増 減
前 期 繰 越 金	39,488	53,865	14,377
会 費	42,000	42,000	0
寄 付			
合 計	81,488	95,865	14,377

《支出の部》

科 目	前年度予算	18年度予算	増 減
手 数 料	2,000	2,000	0
通 信 費	5,000	5,000	0
消 耗 品 費	2,000	2,000	0
会 議 費	10,000	10,000	0
会 報 等	0	0	0
予 備 費	62,488	76,865	14,377
合 計	81,488	95,865	14,377

4 「積丹町サクラマス・サンクチュアリーセンター」特別会員として加入希望

木村事務局長より河村顧問推薦から推薦があった旨が伝えられ、加入が承認された。

河村顧問による推薦：サンクチュアリーセンターは河村氏の前職場。積丹町松井町長より、センター員の研修の意味で参加させたいとの意向が伝えられている。

「積丹町サクラマス・サンクチュアリーセンター」について

設置目的:教育展示施設

所属・所管: 積丹町・農林水産課

住所: 積丹郡積丹町大字余別町 312 番地 Tel:0135-44-2111(代表)

連絡先:積丹町ものづくり体験館 Tel:0135-48-5650

担当者:積丹町保護水面監視員 安宅紀博 e-mail: qqvr33w9k@almond.ocn.ne.jp

5 規約の条文化および事務局次長職の新設

事務局次長職の新設を含む規約の改正および条文化（別紙）が提案され承認された。

6 役員改選

「現役員の任期は 2017 年度～2018 年度であるため、本来の役員改選は 2019 年度に行うことになるが、事務局次長職が新設されたので高橋壽一氏をその職に推薦したい。また、水産研究・教育機構 北海道区水産研究所の人事異動にともない監事を藤瀬雅秀氏に交代していただいた。これらについて承認をお願いしたい」との提案があり、承認された。（2018 年度役員－別紙）

7 「IYS（国際サーモン年）2019」（別紙）に対する取り組みについて

<阿部代表>

IYS 2009 はサケ資源の回復および持続可能な資源の管理と利用を目的に実施される活動で、学術的研究に加えて、国際的な協力と価値の見直しを目指している。その主要なテーマは：

1. Status of Salmon サーモンと生息環境の現状を把握
2. Salmon in a Changing Salmosphere 生息場所の変動が分布と資源量に与える影響を理解し、将来を予測
3. New Frontier サーモンを科学する新技術の開発
4. Human Dimension サーモンに依存するさまざまなコミュニティや人々の結びつきと協力関係を強め、人々とサーモンを元気に!
5. Information System 得られた情報をアクセス可能なデータベース化し、将来の研究に必要なツールを開発

北水研より No.4 についてネットワークに協力依頼があった（資金協力無し）。2019 年度のサケ会議を IYS の冠事業として実施したい。～ 提案は承認された。

【情報交換】

各団体より活動現況が報告された。

- ・豊平川さけ科学館 岡本館長

サッポロワイルドサーモンプロジェクト（SWSP）の取り組み。放流量を減らして遡上個体数への影響を調査

・北大・理 浦野明央氏

本ネットワークの HP および会報の編集

・岩手大学 田村氏

震災後農学部に水産関係の新しい学科が新設された。放流の努力はしているが、残念ながら回帰量が減少。漁協でサケの採卵に取り組む。学生が釜石研究センターで教育を受けるようになる。

・積丹町サクラマス・サンクチュアリーセンター 安宅氏・梶浦氏

新規入会（センターは 1994 年開設）。活動内容について質問があった。センターはマスを主体に生態展示（ヤマメ）を行っている。町役場としては、余別川が保護水面になっているため、その保護が本来の業務である。そのため保護水面の意義と地域の漁業や生活者との関係を、映像で紹介している。直近では 2 年かけて 4K 映像と言う高画質のものに更新した。

・とちぎ・帯広サケの会 伊藤事務局長

帯広第 8 中学校内にサケの孵化場があり、採卵・飼育・放流・食育に利用している。ただ孵化場への導水管維持に課題が生じている。

・大雪と石狩の自然を守る会 寺島代表

2000 年サケ回帰、2011 年顕著な増加が見られた。河口から 160km もある石狩川の維持のため、河川環境の保護が重要。行政による整備と市民の啓発などに取り組む（市民向けにサケガイド養成講座開催・食育のためのちゃんちゃん焼きの会など）。サケの回帰は 2011 年のピークから減少したが、去年辺りからまた増加に転じた。

・標津サーモン科学館 市村館長

自然産卵協議会による環境調査＝過去の卵の発現率 20%以下だったのが、土壌改良と川筋の曲線化で 60%を越えた。

北海道サケネットワーク規約

(名称・所在地)

第1条 この会は「北海道サケネットワーク」(以下「ネットワーク」という)と称し、事務局を事務局長の所属する会員(法人・団体)の住所に置く。

(目的)

第2条 この会は、サケと人との関わりを考え、サケをシンボルとして「豊かなふるさと」を守り伝える運動の連携及び継続的な発展を図ることを目的とする。

(活動)

第3条 この会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 会員相互の情報交換
- (2) 研修事業の実施
- (3) 会員活動の連携と支援
- (4) その他この会の目的達成に必要な活動

(会員)

第4条 会員は、この会の目的および活動に賛同する法人・団体をもって構成する。

- 2 会員は正会員及び特別会員で構成する。特別会員は、研究機関及び教育機関並びに指導機関とする。

(経費)

第5条 この会の活動に必要な経費は、正会員の年会費及び事業参加費並びに寄付金などをもって充てる。

- 2 正会員の年会費は、1団体3,000円以上とする。

(役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 代表 1名
 - (2) 副代表 1名
 - (3) 事務局長 1名
 - (4) 事務局次長 1名
 - (5) 幹事 若干名
 - (6) 監事 2名
- 2 役員は総会で選任し、代表、副代表、事務局長、事務局次長、幹事、監事の役職選任は役員相互による。
 - 3 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

4 この会に顧問を置くことができる。

(総会)

第7条 定期総会を年1回春期に開催する。また、臨時総会を開催することができる。

2 総会の決議は出席者の過半数をもって行う。

(会計年度)

第8条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

付則

1 この会則は2006年11月18日から施行する。

2 この会則は2007年11月17日から施行する。

3 この会則は2014年10月18日から施行する。

4 この会則は2017年5月27日から施行する。

5 この会則は2018年5月26日から施行する。

2018 年度北海道サケネットワーク役員名簿（敬称略）

2018.5.26 現在

代 表 阿部 周一（北海道大学水産科学研究院）

副 代 表 寺島 一男（大雪と石狩の自然を守る会）

事務局長 木村 義一（札幌サケ協議会）

事務局次長 高橋 壽一（札幌サケ協議会）

幹 事 市村 政樹（標津サーモン科学館）

同 千葉 養子（とがち・帯広サケの会）

監 事 藤瀬 雅秀（水産研究・教育機構）

同 佐藤 信洋（豊平川さけ科学館）

顧 問 浦野 明央（北海道大学理学院）

同 河村 博（北海道立総合研究機構）